

こもれび

題字 北村正平市長



2/14-2/15東海四県スポーツ推進委員研究大会

第21号

- ・第13回藤枝リバティ駅伝(1/19)
- ・ワンバウンドふらば〜る大会(2/2)(2/22)
- ・東海四県研究大会in浜松(2/14~15)
- ・ふじえだマラソン中止
- ・退任者発表

編集・発行
藤枝市スポーツ推進委員会
広報部

2020年4月



第13回 藤枝リバティ駅伝

令和2年1月19日(日) 大井川マラソンコース「リバティ」

参加321チームの皆さんを迎えて、第13回の藤枝リバティ駅伝が大井川マラソンコース「リバティ」で行われました。

今年は例年になく暖かい日となり、選手も戸惑いを感じながらのスタートではなかったでしょうか？

今年で13回を迎えた藤枝リバティ駅伝が、1月19日に大井川マラソンコース「リバティ」で開催されました。数日前まで雨の予報でしたが、当日は風もなく、この時期にしては暖かな晴天となりました。321チーム1,605人のランナーが参加しました。競技は小学生が10km、中学生、高校生、一般が15kmのコースを5人の走者が襷を繋いで走りました。午前8時50分に小学生クラスがスタートし競技が始まりました。コースが濡れていた為、折り返し点では足が滑って転倒者が出ました。「滑るから注意して下さい」「ゆっくり回って下さい」とランナー一人一人に声を掛けたり、石灰を撒いて応急処置を行いました。この対策が功を奏し、それ以降は転倒者が一人も出ませんでした。大きな怪我もなく終了することができ、ほっと胸を撫でおろしました。

井林 伸之



参加チーム数

小学生の部	40チーム
中学生男子	10チーム
中学生女子	5チーム
高校生男子	6チーム
高校生女子	1チーム
一般男子	73チーム
一般女子	9チーム
一般男女混合	177チーム

1月19日...冬の寒さに一転した大変あたたかな気温と快晴に望まれた絶好のコンディション。昨年と同様に受付で参加させていただきました。選手の皆さんのイキイキとした姿が見ていて嬉しくなりました。スポーツ推進委員としてなかなか上手く活動ができていない私にとっては、推進委員の方々のコミュニケーションが出来たりと大変貴重な時間でもありました。

また4月から推進委員として活動させていただきます。次のリバティ駅伝でも、選手の方々を一番に考え、スムーズに物事が進むように工夫したいと思います。

塚本 未央



大盛況！志太地区フレンドリーマッチ ワンバウンドふらば～る大会

令和2年2月2日(日)
焼津市総合体育館

藤枝市、焼津市、島田市の24チームで、ワンバウンドふらば～る大会が開催されました。藤枝市からは、9月の予選を勝ち抜いた8チームが参加し、大健闘しました。



コート	順位	チーム名	市
A	優勝	BANG!SHOW-G	島田
	2位	第17自治会	焼津
	3位	おもてなし	藤枝
	4位	アップルA	島田
B	優勝	トロンボーン	島田
	2位	豊田第9自治会	焼津
	3位	SPLASH!	島田
	4位	インスタント	藤枝
C	優勝	10自治会	焼津
	2位	FUN FAN	島田
	3位	チーム稲瀬	藤枝
	4位	ラッキーズ	藤枝
D	優勝	港14自治会	焼津
	2位	チーム青南町	藤枝
	3位	2年2組	藤枝
	4位	アップルB	島田
E	優勝	島田北S・C	島田
	2位	大富第20自治会	焼津
	3位	大富第19自治会 石田さんたち	焼津
	4位	お手玉会	藤枝
F	優勝	和田	焼津
	2位	豊田第8自治会	焼津
	3位	大津レッツ	島田
	4位	スマイル大洲	藤枝

志太3市スポーツ推進員会交流大会 (ワンバウンドふらば〜る)

令和2年2月22日(日)
焼津市総合体育館

志太3市の推進委員の資質の向上を図り、知識や技術の習得、委員同士の交流を目的としてワンバウンドふらば〜る交流大会を実施しました。藤枝市からは、23名の推進委員の皆さんが参加しました。



第69回東海四県スポーツ推進委員 研究大会 in浜松

令和2年2月14日(金)・15日(土)

浜松アリーナ 他

今年の東海四県スポーツ推進委員研究大会は、静岡県が開催県となり、浜松市内をメイン会場として、新型コロナウイルスが心配される中、盛大に執り行われました。

令和2年2月14日(金)15日(土)に東海四県スポーツ推進委員研究大会が静岡県の担当で浜松アリーナ(浜松市)にて開催されました。

1日目(14日)は全体会が浜松アリーナにて行われました。開会式・表彰式と進み、東海四県功労者表彰は99名で藤枝市からは該当者がいませんでした。

講演の前にアトラクションとして静岡県浜松東高等学校ダンス部による現在の若者らしいダンスを披露されました。照明の暗い舞台でのダンスで何もわからず、正直に言って我々には縁遠いものでした。

今回の講演は日本ホスピタル・クラウン協会の大棟耕介氏による「幅広い世代にスポーツを普及させるためのクラウン流コミュニケーション術」という演題で講演されました。ホスピタル・クラウンは闘病中の子どもたちに喜び、夢、笑い、希望、愛を届けています。約90分の間、面白おかしく途切れなく早口で喋っていました。時間が経つのは非常に早く感じました。でもここに来て、最近ではコロナウィルスの為に活動を自粛しているようです。

第2日目(15日)は分科会で、我々は第3分科会に出席するために雄踏文化センターに向かいました。

研究発表は駿東郡清水町でテーマは「活気ある町！1人1スポーツを目指して」でした。

PDCA手法を取り入れた中で日々改善を重ねているようでしたが、今一Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返す手法のほが、私には見えてきませんでした。

続いての発表は女性部のラジオ体操をはじめいろいろな体操を披露し感動しました。自分にはなかなか出来ない箇所があり、戸惑ってしまいました。

私自身最後の東海四県スポーツ推進委員研究大会でしたが、全体を通して久しぶりに充実した研究大会だったと痛感しました。有難う御座いました。

秋山 一雄

新型コロナウイルス肺炎の脅威が音もなく忍び寄るなか、開催が危ぶまれたところであるが、予定通り2月14日・15日にわたり、浜松市・湖西市において第67回東海4県スポーツ推進委員研究大会が開催されました。

初日は、浜松アリーナにおいて永年にわたり地域スポーツの育成等に功績のあった功労者および団体の表彰が行われ、その後日本ホスピタル・クラウン協会の大棟耕介氏によるコミュニケーション術の講義が行われた。

講義と言っても、堅苦しいものではなく漫談的なもので時折見せる大棟氏流のパフォーマンスは聞く側にとっても退屈な時間を与えない受け入れやすい内容であった。

翌日に開催された分科会では藤枝市のメンバー全員は第三分科会に充てられて清水町の事例発表の後に女性部による「正しい姿勢」によるラジオ体操などが行われた。

改めて姿勢に注意を払いながら体操することは意外と汗が出て、なかなかの運動量でした。日々の中においてもつついといい加減になりがちなのこの「体操」も目的を持ってきちんとやることで現れる効果を市民にしっかりと伝えていく事もスポーツ推進委員の立派な使命であることを再確認したところです。

青島 広明



華麗！竹田さんの
パフォーマンス



第27回ふじえだマラソン 中止

新型コロナウイルスの影響によるマラソン中止の記事

2. 2. 28 静岡新聞

ふじえだマラソン
来月15日開催中止
ふじえだマラソン実行委員会は27日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月15日に藤枝市内で開催予定だった「第27回ふじえだマラソン」の中止を決めた。同市本郷の藤の瀬会館を発着点に、約2500人が参加する予定だった。県内からの参加が中心で、海外からのエントリーはなかったという。参加料の返金はないが、参加予定だった人にギフト券などを進呈する。

横馬課長からのコメント

ふじえだマラソンの中止について

これまで何度か出場していましたが、一昨年初めて高低差300mに挑戦し、今は亡き長男の伴走もあって完走、その時の達成感は今でも記憶に残っています。

今年は主催者側として楽しみにしていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、やむを得ず中止とさせていただきました。

大会当日は、中止を承知の上で、朝から200人ものランナーが藤の瀬会館前に集まりランニングを楽しんでいました。

大会を楽しみにしていたランナーの皆さまには、申し訳ない思いでいっぱいです。

一日も早い事態の終息を願うばかりです。

スポーツ振興課 横馬

残念ながら3月で退任された方々

38年

加藤 金吾(市推薦)

36年

秋山 一雄(西益津2)

20年

曾根 啓之(藤枝7)

大石 博幸(大洲2)

16年

前畑 良一(藤枝2)

10年

前田 明男(青島2)

石野 秀光(青島10)

大橋 昌行(大洲3)

8年

青島 幸重(青島12)

丸山 茂(葉梨1)

6年

府川 朋美(藤枝1)

杉山 睦司(藤枝8)

4年

河村 敏之(藤枝10)

岩本 豊(稲葉1)

横山 彰雄(青島3)

嶋崎 英逸(西益津2)

内藤 昌一(大洲4)

澤口 誠(岡部1)

2年

渡辺 吉通(瀬戸谷2)

浜田 瞳(葉梨4)

橋ヶ谷 尚登(広幡2)

井林 伸之(藤枝6)

西澤 丈夫(藤枝9)

中光 正行(西益津1)

石田 鋳一(高洲2東)

池田 亮太(高洲2北)

松本 司(高洲3)

飯村 政明(高洲4)

山崎 久雄(青島8)

敬称略

退任者を代表して

藤枝市スポーツ推進委員会委員長 加藤 金吾



在籍中は大変なご好意をいただき、誠にありがとうございました。この3月をもって推進委員を退く事になりました。

さて私儀、平成23年に30年勤続、24年に全国功労者、25年に文部科学大臣功労者表彰をいただくことができました。これもひとえに皆様方のおかげだと思います。多くの方々の温かいご指導とご支援、ご協力をいただいたことに心から感謝厚くお礼申し上げます。これまで好き放題に、自由に、のびのびと暴走する自分を慕えていただき、誠にありがとうございました。皆様のますますのご健勝を祈念し、退任にあたってのお礼のあいさつとさせていただきます。

とはいえ、スポーツ推進委員はここで退任して一区切りになりますが、自分自身、まだまだ新しい出会いと発見と挑戦を求めて止みません。

これから出会えるすべての事柄に新しい気持ちで挑み、より一層新しいことにもチャレンジしていく所存です。

つきましては、皆様からのお声かけを常にお待ち申し上げます。

改めて、長年のご厚情に深謝し、今後とも相変わりがせず、一層のご指導ご鞭撻をよろしく願ひ申し上げます。

これからの皆様方のスポーツ推進委員の活動を応援して行きたいと思ひます。

編集後記

広報部長 田中 弘幸

皆さん委嘱を受けた2年間のスポーツ推進委員としての活動、ご苦労様でした。振り返れば諸行事も皆さんのご協力。活躍により無事終了するのか、と思っていたら最後の最後に新型コロナウイルスというとんでもないものが日本中どころか全世界に蔓延してしまい、大問題となってしまいました。

Jリーグ・プロ野球をはじめとする各種スポーツの開催時期や中止、また人々が集まるイベントも中止が相次いでおり、経済が混乱してしまい、株価も大暴落です。そんな中一番気になるのが東京オリンピックパラリンピックです。開催が来年に延期されましたが、今はとてもオリンピック・パラリンピックをやる状況下になく、全く先が見えなくなっています。

ところで我が藤枝市スポーツ推進委員会も大きな問題を抱えています。それはこの3月で56人中なんと半分以上の29名の方が退任されてしまいました。それに今回は29名の内、経験10年以上が8名、6年以上が4名と今まで長年に亘りこの推進委員会を引っ張ってこられた方が多く退任されてしまいました。

非常に残念ではありますが、残ったメンバーが主となり、新人さん達とこれから盛り上げていきましょう。

役員も一新されました。One Teamの精神で更なるご協力を令和2年度もよろしくお願いいたします。

